

藤沢記者クラブ各位

2026年(令和8年)5月29日

令和8年度企画展 I

絵は生活 生活は絵

麻生知子展＋ワタリドリ計画展

を開催します！



麻生知子《家》2026
油彩、キャンバス

藤沢市アートスペースでは、市内在住の画家・絵本作家である麻生知子（あそうともこ）氏と、アートユニット「ワタリドリ計画」による令和8年度企画展 I 「絵は生活 生活は絵」を開催いたします。麻生氏はこれまでに計6冊の絵本を出版し、目覚ましい活躍を遂げている注目のアーティストです。本展では「生活とアートの密接な関係」をテーマに、130点を超える膨大な作品群を展示。身近な日常の中に潜む創造力を再発見できる、親子でも楽しめる展覧会です。

日時 6月13日(土)から8月23日(日)まで
午前10時～午後7時(入場は午後6時30分まで)
(休館日 月曜日 ※ただし7月20日(月・祝)は開館、翌火曜日休館)
場所 藤沢市アートスペース (JR辻堂駅北口から徒歩5分)
展示内容 本展は、趣の異なる2つのスペースで展開します。

<展示ルーム：麻生知子展>

絵本に使用された貴重な原画をはじめ、力強い油彩画、温かみのある陶器の立体作品まで、麻生知子の多彩な創作活動をたっぷりご紹介いたします。

<レジデンスルーム：ワタリドリ計画展>

麻生知子と武内明子（たけうち あきこ）によるユニット「ワタリドリ計画」が、それぞれの拠点である「藤沢（神奈川）」と「天草（熊本）」をモチーフにした作品を発表。二つの土地の風景や暮らしが、アートを通じて交差します。

※関連イベントの詳細は別紙チラシをご覧ください。

裏面へ続く

本展の見どころ

1. 130点以上の作品群と、制作の息遣いを感じる「公開制作」

2つの展示を合わせ、130点を超える見応えたっぷりの作品が登場。展覧会出品作品の公開制作（5/12～アートスペースにて制作中！）に続き、会期中には、次回絵本作品の原画制作が行われます。作品が生まれる瞬間を間近で体験できる、貴重な機会です。※会期中の公開制作については、6/13よりアートスペースのSNSで配信します。

2. 2025年発行の最新絵本『りょこう』原画を全ページ展示

日常を飛び出す「旅」もまた、かけがえのない生活の一部であると教えてくれる、最新作『りょこう』の原画全ページを一挙に公開。主人公の「こうたくん」が日常を飛び出して、おじいちゃんとの二人旅を体験。ページの細部にサプライズのように散りばめられた緻密な描写は、原画ならではの味わい深さがあります。

3. 地元の魅力を再発見！「ワタリドリにとっての藤沢カルタ」

「ワタリドリ計画」が藤沢市内を徹底リサーチして作り上げた、全46点からなるカルタを展示。平面と立体を織り交ぜて表現された、おなじみの風景やよく訪れる大好きな場所が、アート作品として新たな魅力を放ちます。

参加アーティスト紹介



左から武内明子、麻生知子

あそう ともこ
麻生 知子

画家・絵本作家。1982年埼玉県生まれ、藤沢市在住。東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻領域卒業。主な展覧会に「東美Art Fair 2025」（東京美術倶楽部／2025年）、主なグループ展に「おいしいアート展」（横須賀美術館／2014年）他。また、自宅敷地内にある山内龍雄芸術館の運営も行っている。

たけうち あきこ
武内 明子

画家。1983年熊本県生まれ、上天草市在住。東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻領域卒業。主な展覧会に「武内明子展 空っぽと詩」（熊本市現代美術館／2023年）主なグループ展に「Go-somewhere!」（在カナダ日本国大使館／2019年）他。デザインの分野でも活躍している。

藤沢市アートスペース／愛称 FAS（エファース）は美術振興施設として2015年にココテラス湘南に誕生しました。展示だけでなく、作品制作ができるレジデンスルームを併設しているのが特徴です。公募による展覧会のほか、地域ゆかりのアーティストによる展覧会、市所蔵作品などの展示、また子どもから大人までが参加できるワークショップなどを開催しています。

【この資料に関する問い合わせ】

藤沢市役所 生涯学習部 文化芸術課
藤沢市アートスペース 担当：鎌田 石井
内線：6411 直通：0466(30)1816